

平成28年度

千葉県健康づくり推進協議会
第1回8020運動推進部会
議 事 録

保健福祉局健康部健康支援課

平成28年度千葉市健康づくり推進協議会第1回8020運動推進部会議事録

1 会議の名称

平成28年度千葉市健康づくり推進協議会第1回8020運動推進部会

2 開催日時

平成29年1月10日（火） 午後7時から午後8時40分

3 開催場所

千葉市美浜区幸町1-3-9

千葉市総合保健医療センター 2階 健康学習室

4 出席者

(1) 委員

金子充人委員(部会長)、関根務委員(副部会長)、石川進一委員、岡部明子委員、木屋和彦委員、藏屋勝敏委員、河野功委員、杉崎幸子委員、藤田興一委員、若菜美一委員、渡邊茂委員(委員12名中11名出席)

※欠席委員 一戸達也委員

(2) 事務局

加瀬秀行健康部長、鈴木規宏幼保支援課担当課長、五藤里子幼保運営課担当課長、阿部健一郎保健体育課課長補佐、春名隆博中央保健福祉センター健康課長、福田峰子健康支援課長、石川さゆり健康支援課担当課長、三橋正明健康支援課課長補佐、齋藤裕香健康支援課嘱託歯科医師

5 議題

- (1) 千葉市の歯科保健対策の現状及び歯科保健事業実績について
- (2) 関係機関等の歯科保健対策の取組みについて
- (3) その他

6 議事の概要

冒頭、事務局から、千葉市健康づくり推進協議会設置条例第7条第7項の規定により、委員の半数以上の出席があるため、会議が成立している旨の説明があった。

- (1) 千葉市の歯科保健対策の現状及び歯科保健事業実績について
事務局から千葉市の歯科保健対策の現状と平成27年度及び平成28年度上半期の歯科保健事業実績の説明を行った。
- (2) 関係機関等の歯科保健対策の取組みについて
関係機関から歯科保健対策の取組みについて報告があった。
- (3) その他
口腔体操の実演があった。
事務局から今後の審議日程について説明を行った。

7 会議経過

(1) 千葉市の歯科保健対策の現状及び歯科保健事業実績について

福田健康支援課長から、資料1-1「千葉市の歯科保健対策の現状(健診等の実績)」により、平成27年度及び平成28年度上半期の実績について説明を行った。

また、齋藤健康支援課嘱託歯科医師から、資料1-2「千葉市民の歯・口腔等の状況」により、妊産婦歯科健診の実施状況、産婦歯科健診と3歳児歯科健康診査の比較、幼児期・学齢期の歯科保健の状況、政令指定都市の1歳6か月児と3歳児のう蝕有病者率、3歳児のフッ化物応用の状況、政令指定都市の12歳児の有病者率と一人平均う歯本数、歯周疾患検診の実施状況、口腔体操認知度、誤嚥性肺炎認知度、千葉市介護予防事業の効果についての説明を行った。

【質疑応答等発言要旨】

<藤田委員>

妊産婦歯科健診の受診率が 32.1%・24.8%というのは少なすぎるのではないかと、PR の仕方を工夫すべきだと感じる。

<福田健康支援課長>

対象者全員について母子健康手帳発行時に専門職が説明をしているが、御指摘の通り、受診率は高いとは言い難い。今後、産婦歯科健診と 3 歳児歯科健康診査の比較等の具体的な効果について情報提供し、周知の内容について工夫していきたい。

<金子部会長>

心身障害児等の訪問歯科診療事業について、平成 26 年・平成 27 年とあまり変化がなかったが、平成 28 年度上半期で実績が増加している理由について教えてもらいたい。

<渡邊委員>

事業の潜在的な需要は高いと考えているが、御指摘の通り、ここ数年は実績が伸び悩んでいたため、今年度は広報活動に力を入れた。訪問理容・美容を行っている理容組合・美容組合へ出向いて事業説明を行い、パンフレットの配布をお願いしたところ、快諾していただいた経緯がある。また、居宅介護支援事業者や居宅サービス支援事業者の集会にも出向き、事業説明の機会をいただいた。このような掘り起しの PR 活動の効果が少しずつ現れてきたのではないかと考えている。

<金子部会長>

口腔体操や誤嚥性肺炎の認知度は上がっているが、62.6%・65.7%とのこと。現在、ちばしいきいき体操のグループ数はどのくらいか。

<福田健康支援課長>

平成 28 年 10 月時点で、千葉市全体で 42 か所である。今後も周知を続け、可能であれば小学校区ごとなど、歩いて出向ける場所に 1 グループずつ増やしていきたいと考えている。

<金子部会長>

小学校区ごとだと、どのくらいの数になるか。

<福田健康支援課長>

112 か所。歩いて行ける範囲をひとつの目安と考えている。現在は関心の高いところ、例えば民生委員や町内会の集会などで周知し、手上げ方式で実施している。

<藤田委員>

いきいきセンターで 65 歳以上生きがい活動に参加しているが、口腔体操は聞いたことがない。65 歳以上生きがい活動は各区のいきいきセンターで実施しており、各 20 名程度の参加がある。こういった場所にも出向き、PR 活動を実施していただきたい。

<福田健康支援課長>

各区健康課と連携をとって進めていきたい。

<蔵屋委員>

我々は毎月勉強会をやっているが、千葉市政出前講座の講師をよく派遣してもらっている。この出前講座に口腔ケアの項目が見当たらない。健康福祉という項目に口腔ケアが入っているのかどうか。また今後、口腔ケアを載せていただけるのか教えていただきたい。

<福田健康支援課長>

現在、千葉市政出前講座に口腔ケアは入っていないが、各区健康課に相談していただければ、日程調整をして伺わせていただく。事業との調整が必要であるため、お手数ではあるが、連絡をお願いしたい。

<蔵屋委員>

現状は理解した。我々は、区にも依頼して講師として来ていただくことがあるが、日程調整が難しく、頻繁に機会があるとは言い難い。千葉市政出前講座のように公式的であれば申込みが行いやすく、非常に効果的であると感じる。市民が気軽に健康教育を受けられるような仕組みづくりをお願いしたい。

<福田健康支援課長>

前向きに検討したい。

<岡部委員>

妊産婦歯科健診に関して、母親自身のむし歯や歯周疾患予防も大切であるが、子どもの口腔発達もまた大切である。子どもの口腔発達等の情報提供が出来るパンフレット等と一緒に歯科医院へ配布していただきたい。そうすることで、健診時の指導内容が広がり、定期健診等へ結びつきやすくなると思う。

<福田健康支援課長>

検討したい。

(2) 関係機関等の歯科保健対策の取組みについて

関係機関・団体から、資料2「歯・口腔の健康の推進について関係機関等の取組み」により、千葉市の3つの課題、むし歯予防、歯周病予防、口腔機能低下予防毎に、それぞれの取組みの報告があった。

【取組みの報告の要旨】

<歯科医師会 木屋委員>

むし歯予防の取組みについて。フッ化物応用の推進として、フッ化物取扱い歯科医院の一覧(歯面塗布の実施、洗口の取扱い)をホームページ上で情報提供している。また、ヘルシーカムカム開催周知チラシやポスター、メディア(NHK-FM ラジオ、読売新聞発行の安心安全便り)を利用して知識の普及啓発に努めている。

歯周病予防について。歯周疾患検診受診勧奨啓発ポスターを会員診療所だけでなく、公共機関などの他関係機関にも配布して掲示していただいている。ヘルシーカムカム、健康づくり大会等のイベントで普及啓発に努めている。健康増進事業、介護予防歯科健康教育講演において、健康支援課と連携し、1区で4講演(計6区24講演)実施し、普及啓発を行っている。また、資料には記載していないが、花見川地区では、糖尿病と歯周病の医療連携事業として医師会と連携を図っている。糖尿病患者のおよそ4分の3が重度の歯周病を併発していると言われていたため、問診で糖尿病の疑いがあり、重度の歯周病が認められる方は、医師会会員へ紹介している。

口腔機能の低下予防について。今年度から始まった後期高齢者歯科健診において、千葉市の健診や口腔ケアに関する事柄なども含めた知識の普及啓発を行っている。先程説明した内容と重複するが、健康増進事業、介護予防歯科健康教育講演において、歯周病と口腔機能低下予防についての普及啓発を行っている。また、資料には記載していないが、医師会・歯科医師会・薬剤師会の三師会シンポジウムにて、誤嚥性肺炎をテーマに講演会を実施した。

<医師会 関根副部長>

木屋委員の説明にあったとおり、糖尿病と歯周病における、医師会と歯科医師会の医療連携は大切である。昨年は、全身と歯周病の関係に関する普及啓発のひとつとして、歯周疾患検診受診勧奨啓発ポスターを歯科医師会会員だけでなく、医師会会員の診療室でも掲示した。歯周病は、誤嚥性肺炎や高齢者の肺炎球菌予防接種などにも関わってくる。三師会シンポジウムが話題に上がったが、医科においても歯周病の知識を広め、歯科健診を積極的に勧奨していきたい。

<歯科衛生士会 岡部委員>

むし歯予防の取組みについて。フッ化物洗口普及事業を千葉県より受託しており、県内の障害者施設(主に通所施設、B型施設)において研修会を実施している。研修会後のフォローアップとして、東京歯科大学口腔衛生学講座の協力のもと、翌年・翌々年にも口腔衛生指導のために出向いている。障害者施設ではむし歯予防に関する情報が不足していると感じるため、独自のパンフレットを作成する等、本人・保護者・職員への情報提供(フッ化物洗口、フッ化物配合歯みがき剤等)に努めている。

歯周病予防について。きやっせ物産展、よい歯のイベント等各種イベントにおいて、歯周病予防の普及啓発と併せてブラッシング相談を行っている。また、資料への記載はないが、平成27年度・平成28年度は、千葉県衛生研究所より労災研究事業を委託され、いくつかの事業所に対して、生活支援プログラム(日本歯科医師会作成)を利用した保健指導を行った。

口腔機能の低下予防について。食育のつどい等各種イベントにおいて、スマイルアップちば体操やはっきりことばエクササイズによる口腔体操を普及啓発している。また、障害者施設へ伺い、パンフレットを用いた口腔体操を実践している。

<東京歯科大学(欠席のため、事務局の福田健康支援課長より報告)>

むし歯予防の取組みについて。診療室における歯科衛生士による口腔衛生指導の中で、フッ化物配合歯みがき剤の使用を励行し、フッ化物歯面塗布の積極的な実施を行っている。また、高浜幼稚園と連携してフッ化物洗口の導入をサポートしたところ、平成28年9月より年中児・年長児について毎朝の洗口開始に至った。現時点では全員参加である。なお、毎年2月に歯科保健、歯みがき講習会を実施している。

歯周病予防について。かかりつけ歯科医をもち、定期的に歯科健診を受けることの必要性を啓発している。

口腔機能の低下予防について。近隣歯科医師会との医療連携講演会・症例検討会の中で、摂食・嚥下障害患者における病診連携の実際について講演会を開催した。地域包括ケアに関わる連携会では、他職種に対して口腔ケアを普及啓発している。

<千葉県幼稚園協会 石川委員>

千葉県幼稚園協会の加盟園は82園である。それぞれの園において、園嘱託歯科医師の指導のもと、歯みがき指導やむし歯予防に取り組んでいる。

フッ化物洗口は、歯科医師会の協力のもと取り組んでいる。各園の管理者へ講演会を実施し、現在は5園が集団フッ化物洗口を行っている。更なる普及のため、今後の対応を模索中である。最終的には全園で取り組むことができるような体制づくりをすすめていきたい。

日本を支える幼児の健康のため、真摯に向き合いたい。

<金子部長>

千葉県歯科医師会としても、全面的に協力したい。

<千葉商工会議所 河野委員>

職域、地域への啓発活動として事業に取り組んでいる。

歯周病予防の取組みとして、商工会議所発行の情報誌である夢シティちばの中で、歯周病検診の受診勧奨記事を掲載し、会員向けに周知をしている。また、医師・歯科医師・介護職が会する医療介護部会の中で、市民向けの医療介護相談会を毎年実施している。会員向けにも歯科・口腔に関するセミナーを開催し、多くの参加がある。

<栄養士会 杉崎委員>

直接的に歯に関わることは行っていないが、食育のつどい等各種イベントにおいて、咀嚼と食べ物に関わるリーフレットを配布し、しっかり食べることの大切さについて指導している。年2回開催している食育健康料理教室の中で、参加した親子に対して咀嚼の大切さを伝えている。保育所・学校・高齢者施設で勤務する栄養士に対して、歯や口腔の健康について十分認識を持ってもらうよう、生涯教育研修会の中で、摂食・嚥下機能についての研修項目を設けている。また、6月に1回千葉日報の現在食事考のコーナーを担当しており、咀嚼と食べ物・むし歯予防と食べ物等、食べ物と歯の健康に絡めた記事を執筆している。

<金子部会長>

フッ化物洗口モデル事業を実施している小学校について、現状を報告していただきたい。

<阿部保健体育課課長補佐>

フッ化物洗口は、昨年度より3校で開始された。今年度は更に1校増え、現在は4校で実施している。昨年度末に各学校で行ったアンケート調査結果について、「子ども達が歯みがきを丁寧に取り組むようになった」「むし歯を防ごうという意識が高まった」「むし歯になりにくいメリットがあるのでぜひ続けていった方がよいと思う」「継続することが大事だと思う」という感想が非常に多かった。一方、「準備をするときに負担である」という声も挙げられたが、概ね児童は熱心に取り組んでいる現状である。モデル事業の検証も含め、今後も歯科医師会と協力し、進めていきたい。

<金子部会長>

幼稚園から小学校まで継続して行うことが大切であるので、ご協力願いたい。

商工会議所からは歯周病検診のPR、栄養士会からは食育から咀嚼についての取組み、幼稚園協会からはフッ化物洗口など、この部会を通して少しずつ関係機関の取組みが広がればよいと考える。

【質疑応答等発言要旨】

<藤田委員>

予防に対する啓発活動は非常に大切であるが、もう一步踏み込んだ取組みは出来ないか。自身の体験より感じる場所であるが、かつて歯科医院では治療のみ行っていたが、かかりつけ歯科医を持って定期的に受診をしていたら、悪い徴候があればすぐに対応してもらえ、治療費も低料金で済むなど、歯に関する心配が全くなくなった。歯科医院側からも、患者一人ひとりに、定期的に受診することの大切さを伝え、かかりつけ歯科医をもつよう促していただきたい。

<金子部会長>

現在の歯科治療は、歯周病予防のために歯石除去とクリーニングを重要視しているため、定期的な受診を勧めている歯科医院が増えている。3か月から半年に1回程度来院されている方が多い。

<藏屋委員>

認知症予防のために、各区で脳トレ教室を実施しており、ボランティアとして参加している。教室ではまず、スマイルアップちば体操とはっきりことばエクササイズなどの口腔体操を行っている。お口の健康を保つためでもあり、脳の健康を保つためでもある。口腔ケアや歯周病と全身の関係など、お口の健康に対する関心は高いと感じており、今後も一般市民へ向けた直接的な普及啓発に努めてまいりたい。

歯科医師会の読売新聞への掲載記事の報告があったが、周知のために大変良い試みであると思うので、全家庭に行き渡るような仕組みにしていきたい。

(3) その他

福田健康支援課長より、ちばしいきいき体操の紹介を兼ねて実際に体験していただきたいと提案があった。委員の賛同が得られたため、ちばしいきいき体操のモデルとなった高知市の「かみかみ百歳体操」の中から、舌を動かす運動を体験していただいた。

【発言要旨】

<遠藤歯科衛生士>

歯っぴー健口教室やいきいき体操に携わる中で、教室参加者の動機として「むせやすい」「口が渴く」といった声をよく耳にする。教室参加後は、「よくなった」という感想が多数寄せられ、口腔体操の効果の程を実感する。今回体験していただいた舌を動かす運動は、マスクをつけていれば、移動中でも気軽にできると思うので、ぜひ実践していただきたい。コツはなるべく力強く、大きく、ゆっくり動かすことである。

<蔵屋委員>

ちばしいきいき体操をやりたいグループがあった場合、健康課に伝えたらよいのか。

<福田健康支援課長>

はい。DVDやおもりの貸し出しを含めて対応させていただく。

今回は、高知市の「かみかみ百歳体操」の動画を見ながら体験していただいたが、千葉市版のDVDも現在制作途中である。

<蔵屋委員>

是非作っていただきたい。

<藤田委員>

80歳で20本以上自分の歯を有する者の評価が全くなかったが、千葉市におけるデータはあるのか。

<福田健康支援課長>

歯周疾患検診は70歳までであるため、80歳についての評価手段が現時点ではない状況。健やか未来都市ちばプランでは、60歳で24歯以上自分の歯を有する人の割合と70歳で22歯以上自分の歯を有する人の割合について目標値を掲げており、来年度に中間評価を行う予定である。

<岡部委員>

80歳で20本以上自分の歯を有する者を市町村単位で調査するのは難しい。数年に1回実施される厚生労働省の歯科疾患実態調査によって全国の数値が算出されるが、約40%程度である。

<木屋委員>

毎年、8020長生きよい歯のコンクールを実施している。80歳で20歯以上有する者が審査の対象であるが、申込みは年々増えている。他都市をみても、80歳で20歯の目標ではなく、90歳で20歯、100歳で20歯といった流れになってきているようだ。

コンクールは、市の1位が県大会へ進出し、県の1位が全国大会へ進出し、順位を決めるといったシステムである。

<蔵屋委員>

全国大会レベルは、28本ある方が大多数か。

<金子部会長>

現在は、80歳で20歯以上有する者が大分増えている。千葉市の審査でも、年齢80歳・自分の歯が20本という状況だと5位以内に入るのは難しい。また、むし歯をしっかりと治療してあることも大切なポイントのひとつである。

<岡部委員>

県の審査でも最終審査に残る方は30歯ある場合もある。

<福田健康支援課長>

次回の部会は、来年度の早い時期に予定している。

また、今月27日に千葉市健康づくり推進協議会が開催される。

以上のとおり議事を進め、午後8時40分に閉会した。

以上

8 照会先

・会議の運営・議題について

保健福祉局健康部健康支援課

TEL 043(238)9926

FAX 043(238)9946

電子メール shikahoken@city.chiba.lg.jp

平成29年1月10日(火)開催の平成28年度千葉市健康づくり推進協議会
第1回8020運動推進部会の議事録として承認し、署名する。

千葉市健康づくり推進協議会 8020運動推進部会長